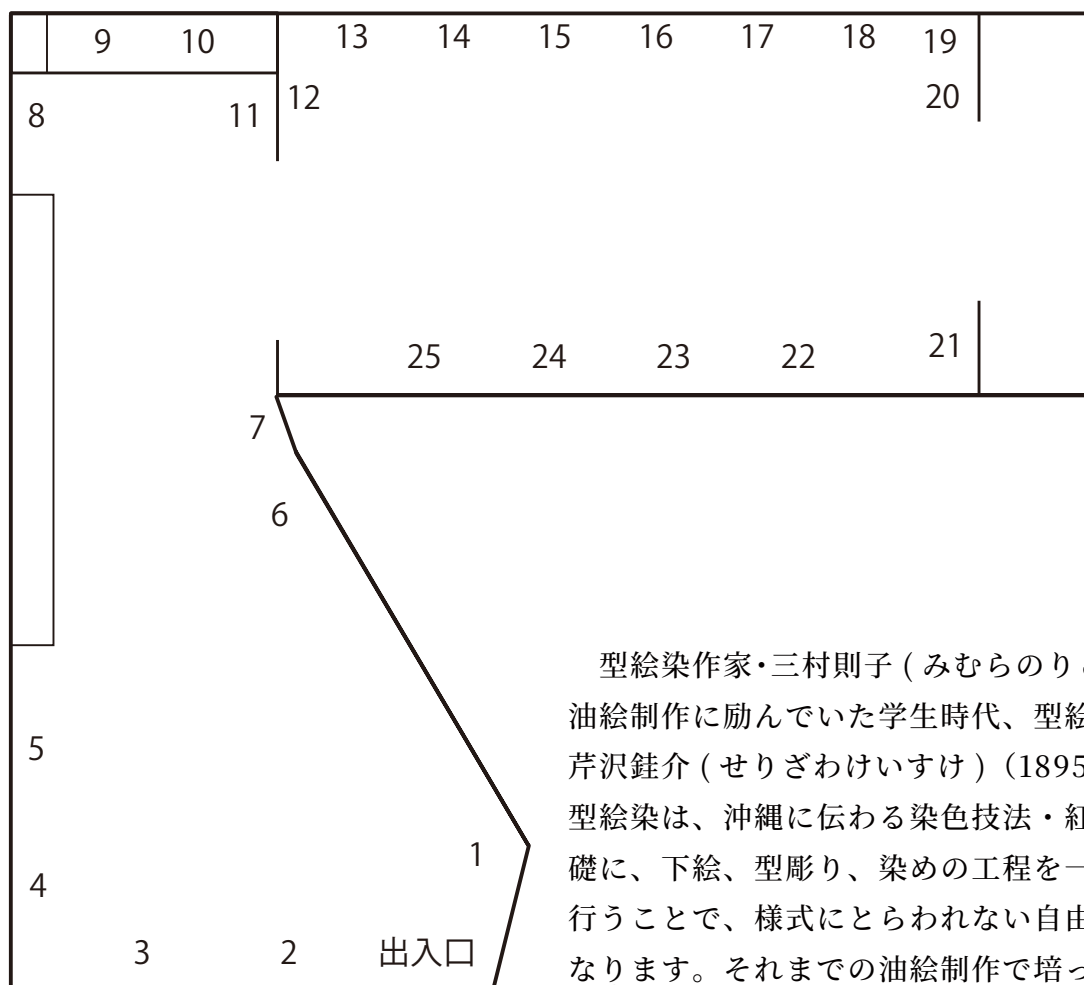


高松市塩江美術館
Shionoe Art Museum

―夫・昌哲と二人三脚で育てた世界―

三村則子 回顧展



型絵染作家・三村則子（みむらのりこ）（1936-2018）は、油絵制作に励んでいた学生時代、型絵染に出会いました。芹沢銈介（せりざわけいすけ）（1895-1984）にはじまる型絵染は、沖縄に伝わる染色技法・紅型（びんがた）を基礎に、下絵、型彫り、染めの工程を一人の作家が一貫して行うことで、様式にとらわれない自由なデザインが可能になります。それまでの油絵制作で培ってきた素養も相まって独自の世界観を表現するに至った三村は、その後も高松市内の中学校で美術教師をしながら制作を続けました。

1990年、大病を患ってからは、自宅の庭や散歩途中の道端にある見慣れた草花がまるで造形を尽くした生命の塊のように目に映るように変化したと述べています。ごく身近にあった限りなく華やかな世界、その感動を多くの人々に伝えるべく、2018年に他界するまで、同じく芸術家で美術教師であった夫・昌哲と二人三脚で描き続けました。

本展では、日々の散歩の折々に心惹かれるままにスケッチした下絵をもとに作成した《豊穰（9連）》（1996年）や《瑤池（白蓮）》（2006年）を中心に25点の作品を紹介します。作品の生み出す凛とした空気と、身近な草花が持つ生命の美しさをぜひご堪能ください。

令和8年 4月18日（土）～5月24日（日）

■ 作品一覧

No.	タイトル	材料	制作年	所蔵
1	瑤池（白蓮）下絵	画用紙・6B 鉛筆	2006	作家蔵
2	瑤池（白蓮）	木綿・天然染料	2006	作家蔵
3	敗荷	木綿・天然染料	2006	作家蔵
4	鶏冠（ケイトウ）	木綿・天然染料	2006	作家蔵
5	知足（ケイトウ）	木綿・天然染料	2006	作家蔵
6	百華（3連）	木綿・天然染料	1996	作家蔵
7	野仏の宴	木綿・天然染料	2006	作家蔵
8	百華（3連）	木綿・天然染料	1996	作家蔵
9	フウチソウ	木綿・天然染料	1997	個人蔵
10	紅衣の仏	木綿・天然染料	2007	個人蔵
11	百華（3連）	木綿・天然染料	1996	作家蔵
12	粧い（イチョウ）	木綿・天然染料	1997	作家蔵
13	島の秋（イチジク）	木綿・天然染料	2006	作家蔵
14	島の秋（ハウズキ）	木綿・天然染料	2006	作家蔵
15	島の秋（たこ壺）	木綿・天然染料	2006	作家蔵
16	島の秋（集落）	木綿・天然染料	2006	作家蔵
17	島の秋（フェニックス）	木綿・天然染料	2006	作家蔵
18	飛驒（かごとハウズキ）	木綿・天然染料	1997	作家蔵
19	故家（サルビア）	木綿・天然染料	1997	作家蔵
20	故家（ツバキ）	木綿・天然染料	1997	作家蔵
21	あやつり人形（メキシコ土産）	化繊・化学染料	1997	作家蔵
22	こま（9連）	化繊・化学染料	1997	作家蔵
23	碧天（ニンジンの花）	木綿・天然染料	2006	作家蔵
24	歓喜（ネギボウズ）	木綿・天然染料	2006	作家蔵
25	豊穰（9連）	木綿・天然染料	1996	作家蔵